

生活を支える豊川

とよがわ

大切な水を守るために

豊川の恩恵

私たちの暮らす東三河は、古くから豊川の恵みを受けてきました。

豊川の水は、日常生活やレジャー、また全国トップクラスの産出額を誇る豊橋市・田原市の農業や自動車産業を始めとした東三河や静岡県湖西市の工業など、この地域一帯の暮らしを支えてきました。

このように、豊川は地域社会のさまざまな場面で私たちに潤いと安心感を与えてくれる大切な存在です。

水不足に対する不安

しかし、東三河は昔から水不足で悩んできた地域でもあります。

豊川は流域面積が狭く、川の長さも短いため、雨が降っても短時間で海に流れてしまいます。そのため、東三河は降った雨を安定的に確保するのが難しい地域です。

幸い近年では、大きな渇水は起きていませんが、それでもここ数年、夏の豊川用水の貯水率は平年より低い状況が多く、渇水への不安は尽きません。



渇水時の宇連ダム(平成25年)

水源林を守る取り組み

こうした渇水を防ぐためには、水を蓄える奥三河の森林が健全に機能していることが必要です。

市では、水源林を保全するために、水道料金の一部(トンにつき1円相当額)を原資に、「公財」豊川水源基金が行っている「水源林保全流域協働事業」を支援しています。

この事業では、間伐や植樹を通して森林の新陳代謝を図ることで、水源かん養機能(森林の土壌が雨水を蓄えることにより、川の流量を安定させ、洪水を緩和する機能)の向上に取り組んでいます。

また、間伐した木材についても、三河材として多くの建物に利用されています。



間伐のようす

水は大切な資源

私たちの暮らしに欠かせない「豊川」の水は、大自然からの大いなる恵みです。かけがえない命の水を、子どもたちの未来につなぐためにも、この限りある資源を大切に使いましょう。



三河材を使用した建物(豊鉄渥美線新豊橋駅)

問い合わせ 政策企画課(☎51・3153)